

議会だより みなかみ

令和6年
2024年
7月15日発行
79号
群馬県利根郡みなかみ町

心と光のファンタジー

特集

BunBetsu

分別 わたし流

6月定例議会

特集 分別 わたし流	2
本会議審議内容及び結果	4
一般質問	6
活動報告	12
まちの匠	15



バックナンバー
が見られます。



表紙：チバームランド 光の切り絵ナイトウォーク（相俣）

BunBetsu

分別 わたし流



4月からプラスチック資源の分別が始まりました。これまで燃えるごみとして処理されてきたプラスチック製品の量に驚いた方も多いのではないのでしょうか。

プラスチックを分別して資源として回収することで、プラスチックが新たな製品として生まれ変わり、大幅なごみの削減につながります。さらに不要なプラスチックを減らすことも大切です。「資源と家庭ごみの分別ガイド」28ページに、すぐにできる心がけが書かれていますので、もう一度ご覧ください。



資源と
家庭ごみの
分別ガイド

町民の皆さんが
実践している「工夫」や
大切にしている「考え方」
を伺いました！



3歳の娘さんが
分別しました



小室 史さん（相俣）

プラスチックの分別が始まってから可燃ごみが激減し、いかにプラスチック包装が多いかということに気づかされました。
なるべくプラスチック包装のものは買わないようにしていましたが、それでも出る。リサイクルされることは喜ばしいですが、根本的にプラスチック利用を減らさねばと努力しています。メーカー側の削減努力も必要です。



阿部 千鶴さん（綱子）

分別ガイドを見ないで完璧に出せる人はどれほどいるのでしょうか。分別するのに助けが必要な方もいます。
私は波板をプラスチックで出したらダメでした。きちんと頭に入れないければなりません、もう少しの時間と努力が必要です。
また分別は、丁寧で細かな人、大雑把な人、面倒と思う人、それぞれの性格を映し出しますね。



増田 菊二さん（後閑）

今までは、いかに一つの袋に詰め込むかに注力していました。プラスチック資源収集が始まり、一つの袋に多くのプラを入れる工夫として、切って入れるようにしました。
6月より週一回の収集となり、安心して出せるようになりました。今後もプラスチック資源分別収集に協力していこうと思います。



根津 祐希さん（月夜野）

生活していく中である程度出してしまうごみですが、なるべく出さないことが大切だと思っています。
新しいものを買う前に、今あるもので代用できないかも一度考えてから。不要なものはいらないかという人にお譲りできないかとフリマアプリを活用しています。自分が無理なく実践できることを続けていきたいです。



田村 弘志さん（新巻）

プラスチックでその多さに驚きます。約9割がプラでした。
コンビニで弁当、おかず、飲み物などを買って食べた後のレジ袋がパンパンになります。
毎回思います「ごみ多過ぎ」「処理場で燃やされCO₂」「分別、今になってからですか」と。
プラスチック全てリサイクルされることを願っています。未来のこともたちのために。



桑原 早恵樹さん（上牧）

プラスチックと燃えるごみを分けることはとても大事だとつくづく考えさせられました。分別したことで可燃ごみが少なくなったのは嬉しいことです。
我が家では早々に「ふた付きごみ箱」を買いに行き、ふたに分かりやすくシールを貼って台所の今まであった燃えるごみ箱の横に設置しました。分別の意識も高まり気持ちもスッキリ！

6月議会
あらまし

6月5日から13日までの会期で6月定例議会を開いた。
発議1件、報告3件、承認3件、契約4件、条例3件、その他1件、補正予算1件を審議した。
一般質問は5人であった（6～11頁）。

第2号 資源ごみ用指定袋の無料化を求めるもの



賛成 星野宗央議員

資源ごみの回収は、住民の協力がなければ取り組みが進まない。今年度から始まった廃プラの回収は、缶、ペットボトルやビンなどの回収と違い、なかなか大変なところがある。町の説明で廃プラの回収は利益にならないという話だが、分別によって燃えるごみの量が減れば、その分は支出が抑えられるわけで、資源ごみ袋を無料化して配ってでも分別を進めるメリットがある。

ごみの分別資源化を全住民対象の取り組みにするためにも、資源ごみ袋の無料化は必要。

反対 江口 樹議員

指定袋が有料であることは、町民の皆様にごみ処理費用をご負担いただくだけでなく、ごみを減らすインセンティブの役割もあると考える。ごみの排出量ごとに課金されていく制度では、排出量に応じて指定袋の料金を支払うことになるので、支払う料金を減らすために、町民の皆様が最終的にごみとなる容器や包装などを買いつける行動をとるのではないかと。指定袋が無料ならば、ごみを減らすというインセンティブが生まれづらいのではないかと。資源リサイクルとごみの減量化を進めるためにも、有料による動機付けが必要と考え、本請願に反対する。

補正

総額 162億3277万円

補正額 3億3277万円

(端数処理あり)

歳出

エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金事業
……………2億2466万円
単独道路改良事業……………2540万円
その他……………8271万円

歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
……………2億1946万円
ふるさと応援基金繰入金……………7790万円
その他……………3541万円

6月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号			議案内容	議決結果
発議	第1号		議員派遣の件 台南市のマンゴーフェスティバルに茂木法志議員を派遣するもの	全会一致可決
報告	第1号		令和5年度 一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	
	第2号		令和5年度 水道事業会計予算繰越計算書の報告	
	第3号		土地開発公社の経営状況の報告	
承認	第1号		税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
	第2号		都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
	第3号		国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
議案	第32号		消防小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結	全会一致可決
	第33号		役場庁舎受変電設備・非常用発電設備改修工事請負契約の締結	
	第34号		社会資本整備総合交付金事業除雪機（除雪ドーザ7t級）購入契約の締結	
	第35号		社会資本整備総合交付金事業除雪機（除雪ドーザ11t級）購入契約の締結	
	第36号		個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	
	第37号		過疎対策のための町税（固定資産税）の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	
	第38号		家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	第39号		群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議	
	第40号		一般会計補正予算（第1号）	



除雪ドーザ7t級



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

牧田 直己 まきた なおき

- ①台湾台南市との友好都市における取り組み
- ②MINAKAMI HEART PAYのデータ活用の取り組み
- ③地産地消を推進のための取り組み

江口 樹 えぐち たつき

- ①GIGAスクール構想について

石坂 欣也 いしがき きんや

- ①ふるさと寄附金の使い方と募り方
- ②地方創生応援税制寄附金について
- ③こども食堂の現状と今後の取り組み、サポートは

阿部 清 あべ きよし

- ①通院困難者への対応
- ②へき地医療、巡回診療の現状
- ③無医地区問題の対策
- ④地域医療、充実に向けた取り組み

高橋 視朗 たかはし しろう

- ①月夜野地区学童保育について
- ②人口減少について

星野 宗央 ほしの かずひさ

星野宗央議員の通告は6月3日付本人の申し出により取り下げ



牧田 直己 議員

町長 台湾との新たな交流は物産交流の展開を考えている

問 台湾台南市との交流が当町にもたらした観光消費額は。

答 町長 交流開始前年の2012年台湾からのインバウンド客数は1340人で2017年には1万972人。観光消費額は観光庁消費額動向調査によると、この10年間で約84億2千万円になる。

問 国内への台湾人の観光客数から当町へ来られた台湾人の割合は、2012年約0.09%、2017年約0.2%に増えていると見受けられる。ただ、私は当町への観光消費額を問うている。今後の調査課題ということでしょうか。

答 町長 当町への台湾旅行者の経済効果を、しっかり調査、精査させ

ていただく。

問 台湾への中学生海外派遣事業がもたらす影響は。

答 教育長 参加した子どもたちは、町のよさが改めて分かった、英語をもっと高めたい等、自分の経験や資質の向上に繋がっていると認識している。

問 今後の展開として、当町産の米の交流など農業分野での関係構築や企業誘致のための意見交換等、新たな交流の検討については。

答 町長 米を台湾へ輸出し、学校給食に提供することができればよいと思っています。また、当町の特産品を台南市へ販売し、相互の物産交流が展開できればよいと考えている。

地産地消を推進

問 町を挙げて地産地消率を上げていくことは待ったなし。方策は。

答 町長 学校給食において地産地消を推進している。農産物加工施設の整備を検討、調査を開始した。

問 加工場開設後の給食の地産地消率の推移は。

答 町長 新治給食センターにて使用された83品目の農作物に限った集計だが、学校用の米は、全量を町内産にしている。



生のじゃがいもは冷凍に向きとわれていましたが、解凍せずに加熱調理することで、定番のポテトフライもポテトサラダもおいしく作ることができるそうです。





江口 樹 議員

ICT教育活用推進方針の策定は

使い方マニュアルの作成を検討

問 GIGAスクール構想とは、1人1台の情報端末を小・中学校に配備し、新しい学びの形を実現させるための構想。町での情報端末の導入は令和2年度末には完了。4年目に入り、町としての導入のメリットとはどのようなに捉えているのか。

ルや活用頻度、それらの効果的な活用などは、教師間・学校間で差がある。タブレットなどの破損や故障の対応、利用におけるルールやマナーの徹底などが主な課題としてあげられる。

問 見えてきた課題に対する対応は。

答 利用スキルや効果的な活用についての対策は『はばたく群馬の指導プランII』ICT活用version』という指導の手引きがありそれをもとに指導している。破損や故障については予備機を使用、公費等で修理。ネットワーク環境の保守については委託し適切に対応している。

問 ICT化の進捗に伴う4年間で見えてきた課題は。

答 学習支援ソフトの利用スキ

答 ICT活用推進方針のように新しくまとめたものを作成する計画はないが、保護者用の学習支援ソフトの使い方マニュアルなどは検討していきたい。

問 オンライン教育の普及は学校という枠が取り払われる。家庭を含めた連携、協力が必要では。

答 地域の方と一緒にになってGIGAスクール構想を推進していかなければならない。

※注1 デジタルデータを利用する情報処理・機器（IT）に通信技術（C）を加えた総称。



石坂 欣也 議員

ふるさと納税を増やすには

町長 あらゆる手段で努力

問 ふるさと納税の現状は。

答 町長 平成27年6月より、寄附を頂いた方に対して、返礼品の提供を開始。寄附金の募り方は、町に直接寄附を頂く方法のほか、現在4つのポータルサイトに掲載し、寄附を募っている。

問 更なるふるさと納税を増やすには。

答 観光商工課長 ふるさと感謝券は、町内の宿泊、飲食、お土産など登録いただいている事業所で使用できる。返礼品の約7割がふるさと感謝券。

問 企業版ふるさと納税の現状は。

答 町長 主な活用事例は、町・三菱地所・日本自然保護協会と三者協定を締結し、ネイチャーポジティブプロジェクトを始動。地域の自然環境を守り、生物多様性の回復を目指した取り組みで、本年度から本格的にスタート。

また、オープンハウスグループは「廃墟から広場へ」というコンセプトの下、水上温泉街の再生を目指し、大型廃墟ホテルの減築やリノベーションを通じて、産官学金連携まちづくり事業の一環として地域の活性化を図っている。

こども食堂

問 こども食堂の現状と今後の取り組みは。

答 町長 現在は社会福祉協議会が取り組んでいる。現在までの地域食堂、こども食堂の設置数は、開設まで至っている事業所が1か所。「につこり食堂」と命名され、食堂の空き店舗を活用し、令和5年度から事業展開をスタートした。ボランティア有志の集まりで運営。これまで新治学童クラブへのうどんの提供や、各種イベントでのワークショップの出店など普及啓発を行いながら活動。

答 町長 総務省の基準に沿って選定している。昨年度からは、ダム点検放流の参加券など、体験を目的

問 返礼品の選定の仕方は。

答 町長 年度により多少増減はあるが、寄附金額、寄附件数は増加。令和5年度の実績は、金額が約7億円、件数は9千件を超えている。

答 町長 掲載するポータルサイトを増やし窓口を拡大することは、大きなメリットである。観光の側面から観光客にアプローチし、新しい返礼品を拡充していくこと。自治体間競争が厳しい中、透明性をもって事業実績を報告し、あらゆる手段で努力していきたい。





阿部 清 議員

オンライン診療先端事業の導入は

町長 有効な手段の一つと認識

通院困難者への対応

問 適切な移動手段のない地域や、医療機関への移動に相

当の時間を要する地域が存在する問題が生じている。住民の医療機関へのアクセスを確保するための支援策は。

答 町長 身体障害者や要介護認定者の方は、福祉有償運送を利用することが原則可能となっている。このほか、民間事業者が運行する福祉タクシーの利用も可能。

へき地医療、巡回診療の現状

問 巡回診療の地域に該当していない地区も多く、無医地区の改善を図るための対策として巡回地域を広げる考えは。

答 町長 地区の人口構成や最寄りの病院までの距離、公共交通機関の状況などを確認し、最終的に利根沼田広域圏の承認を得る必要がある。町の状況を踏まえ、しっかりと調査研究していきたい。

無医地区問題の対策

問 令和4年1月に水上医院が閉院となり、区長会水上支部の17区長名で無医地区の早期解消に向け要望書が提出されたが、どのような対策を講じているのか。

答 町長 医師会に意見を伺ったが、利根沼田地区の一次医療圏には一定数の医療機関があり、町に新たな医療機関を誘致することは簡単

ではないとの回答。

問 県内には9か所のへき地診療所が設置されている。町においても住民の医療提供を確実に提供できる体制を構築することが求められている。へき地診療所の診療施設について考えは。

答 町長 へき地診療に限らず、二次保健医療圏とされる利根沼田地域の医療体制について、不足する診療科医の補充配置等を要望する活動を継続し行っている。

地域医療の充実

問 オンライン診療の先端事業とモバイルクリニック事業とは、診療のための専用車に看護師が乗って高齢者等の自宅付近に向き、医療機器を搭載した車両内

答 町長 町にとって有効な手段の一つと認識している。オンライン診療を含む医療の在り方は日々変化しており、それぞれの有効性や課題の把握、情報収集に努め、町に最適な事業形態を研究して行きたい。



高橋 視朗 議員

月夜野地区学童保育の今後は

町長 既存の施設を活用

問 昨年6月に質問したときの回答は、通所時の安全性を確保するため、施設を1か所にまとめ学校敷地に併設もしくは隣接が望ましい、いわゆる学校の近くと回答されたが、その結果は併設でも隣接でもないが。

答 町長 利用者数の推移や施設の機能性、財政負担等様々な要件を比較したうえで、月夜野小学校の開校予定に併せて改修し、既存の施設を活用することにした。そして通所時は学童クラブの指導員が迎えに行くことで、安全面の確保に最大限の配慮をしていく。

信号も横断歩道もあり、その辺は理解いただきたい。

問 統合後、3校合わせた児童数の6分の1の児童が通所し、今後も多少の減少は見られるが、横ばい状態が続くようなので、前に言ったように隣接・併設ということだったので、それを伺う。

答 町長 学童クラブとこどもの居場所を軸に、子育てに関する機能が集約できれば、より充実した支援につながると思う。

人口減少について

問 2050年には町の人口は約8千人に減少すると見込まれている。そうすると税収が減少し、高齢者福祉、子育て支援も現在のような支援ができなくなる

問 現在、町内で誕生することなどは毎月5名前後。今までの移住・定住だけでは成果は見られないようだが。

が、町の現在の施策は。

答 町長 具体的には、オンラインの移住相談、テレワーク、新幹線通勤の補助、また子育て世帯の住宅新築に百万円の事業等各種展開している。

答 町長 少子化対策、人口減少対策は今まで以上に議論を深め、政策として反映できるよう積極的に推進していきたい。



活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

6月10日 総文委員会レポート

課題

学校健康診断について

はじめに

学校教育課より、町内の小学校で行われた内科検診と、それに対応して開催された保護者説明会について報告と説明があった。

教育長より「内科検診において、大切なお子様の心情への配慮に欠けた行為があったことに対して、学校の指導、管理監督を行うものとして十分に指導ができず、児童並びに保護者の皆様に変に不快な思いやご心配をおかけしましたことを申し訳なく思い、お詫び申し上げます。」との言葉があった。

検診を担当された医師は、思春期早発症等の早期発見を目的に児童の下腹部を視診されたとのことであるが、学校保健安全法施行規則に規定されていない項目の検診を行う場合、学校は事前に児童生徒と保護者に説明等する必要がある、本検診において事前説明等が不足していたこ

とは、児童のプライバシーや心情への配慮がなく、学校及び教育委員会は、迅速かつ十分な児童の心のケアへの取り組みと再発防止が急務である。

今後の対応について
。当該小学校への新しい学校医の委嘱
。適正な健康診断にかかる通知の発送及び学校医と学校の共通認識を図ることの指導の徹底
。健康診断の具体的な実施内容・項目等についての事前確認
。町の公認心理士、学校スクールカウンセラーや外部機関とも連携し、心の不安がある児童へのサポートの徹底等
子どものケアを第一に取り組んでいくとの説明があった。

委員長のまとめこれから

何よりも子どもの心のケアが最優先である。報道等による不安を表した子どもがいたとの報告があったのは、とても心配されることである。学校や教育委員会は二度と同じことが繰り返されぬよう、念には念を入れ、徹底した再発防止に努めていたきたい。

また、沼田利根医師会長の見解として、担当医は小児科の専門医であるため、発育不全やホルモン異常、そ径ヘルニア等の病気があるので診てくれたのだろう。思春期早発症は全学年にかかわるので小児科の専門医として診てくれたのだろう。触診は一般的な診察行為で違法行為ではない。ただ高学年まで診たことは、今の時代に合わないということが口頭で報告された。

課題

民間の力を活用した住環境の整備

はじめに

利根沼田管内の不動産会社を対象に、自社で管理している本町所在の賃貸物件（アパート等）の管理部屋敷と入居者数の調査によると、入居率は93％であり、空室となっているものは築年数が40年以上である等々、本町には若者や子育て世帯が住みたくなくなるような魅力的な物件が圧倒的に不足していることが解っている。

本町へ住みたくても住めないという声は多く、若者等のニーズに合った賃貸住宅の整備は急務といえる。

委員長のまとめこれから

これまで議会でも民間活力を活かした官民連携での賃貸住宅整備事業の必要性は謳われてきた。また令和3年には本整備事業の計画は完成し、当局は予算を確保した。しかし、結果的に予算は執行されずに未着手のままである。

今回改めて検討を行い、本町に官民連携による賃貸住宅の整備が進んでいくよう、本委員会でも積極的に調査・研究すべきである。また、空き家の利活用についても同時に検討を進めるべきと考える。

例えば、空き家の掃除、残置物処理等の空き家の利活用について新たな事業にも期待をしていきたいと思う。

その他の議題

- ・書かないワンストップ窓口
- ・ネイチャーポジティブ宣言



活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

4月16日 総文委員会レポート

視察

Piece of cake

Piece of cakeは昨年、テレワークセンターMINAKAMI（旧月夜野幼稚園跡）内に、こどもの居場所事業として、不登校や家庭にひきこもりがちな子どもが一歩外に出て、安心・安全に過ごせる場所として開設された。

児童生徒約10名が利用しており、当施設があることで居場所として役立つ。ここへ通うことにより、

活発で楽しそうに走り回るようになったり、学校のイベントへ参加できるようになったり等、こどもの気持ちの持ちの所としても機能していることが分かった。

課題としては、こどもによって送迎や昼食等に差異が生じるケースがあるので、町行政に対策を期待する。

その他の議題

- ・二次交通ライドシェアについての町の方向性は、より具体的な需要調査を行い、より効率の良い二次交通を検討していく。
- ・シェアサイクル事業については、住民向け定額料金プランを検討する。
- ・後閑駅ナカ学習室の利用状況については、中学三年生も利用できるようにした。多くの方が利用し賑わっている。



活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

視察

新猿ヶ京浄水場

過去の経緯と現状

あきこやざわ
秋小屋沢・無多子沢を水源とする

猿ヶ京浄水場は、昭和40年代に建設され、老朽化が著しく進んでいた施



設であつたため、ゲリラ豪雨による水質異常（高濁度）には対応できず、降雨時には水道水に濁りが発生し、住民への給水に影響を与えていた。これを解消すべく、平成28年度から3年間で新浄水場の建設を実施、平成31年度より新浄水場からの給水を開始した。

新猿ヶ京浄水場は濁りの解消のほか、クリプトスポリジウム対策にも対応する高度浄水処理施設（膜ろ過）として整備された。場所は永井地内にあり、施設能力は3800m³/日としている。これは生活水量として約1万人分が可能となる。

給水区域は現在、永井、吹路、猿ヶ京温泉、相俣、湯宿温泉、須川、東峰、西峰須川、新巻地区の全域または一部となっている。

※注1 塩素耐性を有する5マイクロメートル程度の原虫で、人が感染すると下痢など3日から1週間程度持続することがある。

今後の課題・方針

近年のゲリラ豪雨等による水質汚染は年々増している状況を踏まえ、現状の施設をより効率的に使い、更に長寿命を目指す対策を取っていく必要性がある。具体的には原水の段階で効果的な前処理の検討がある。

これは膜ろ過施設に入る前の段階で水質汚染対策を取ることで、膜ろ過施設への負荷を軽減することができ、また膜ろ過装置は交換がとて高価な為、ランニングコストの軽減にも繋がる。そして将来的にはこの浄水場の給水が可能な地域の水道施設の統廃合を進め、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、計画的な更新工事を進め、アセットマネジメント計画や水道ビジョンを策定するなど安心で安全、効率的な水道運営を推進していく必要がある。

委員長のまとめとこれから

4月の委員会では新猿ヶ京浄水場、後閑地区内のみなかみ月夜野天然水工場（開業前）を視察し、今後の課題や取り組み内容について共有

させていただいた。

また利根沼田ごみ処理広域化基本構想及びプラスチック資源収集状況について、収集回数についても議論があり、6月1日より収集日を増やす方針が出された。

更に議論を続けてきた鳥獣害処理施設について当局の方針が打ち出され、委員会としても調査研究を含め、適正に判断していきたいと考えている。

その他の議題

- ・エールみなかみ商品券の販売について
- ・LINE公式アカウントの導入について
- ・除雪費について
- ・除雪車の購入について
- ・冬季交通閉鎖解除について
- ・鳥獣害処理施設について

まちの匠

machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方のことです。

みなかみ町の匠を紹介します。

折田 美佐代 さん
Orita Misayo

手すき紙工芸の匠

匠ナンバー

6



和紙の原料は「コウゾ」や「ミツマタ」などの植物です

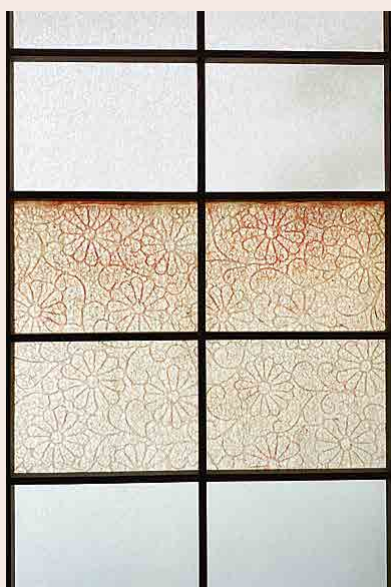


Artistic Fan（うちわ）

——生まれたところ、育ったところ
中之条町

——どんな匠なの

和紙の家を主宰するほか、独自の技法で作成した平面や立体の作品を国内外の展覧会に出展し、県知事賞など多くの賞を受賞しています。令和4年には米国ポートランドジャパニーズガーデンにうちわが展示されました。IAPMA（国際手すき紙工芸家協会）の会員です。



和紙と聞いて、平面と思い込んでいました。障子紙は立てて使うので立体なのですね。和紙を貼った障子は、外光のまぶしさが軽減し室内の印象を柔らかくしてくれます。

——匠になった経過は
自分で作った紙に文字を書きたいという思いから、重要無形文化財細川紙の産地である東秩父村を訪ねました。そこで技術保持者の方から伝統的な技法を指導いただき、私の毎日紙をすく生活が始まりました。その後、造形和紙を知り更に自分自身の和紙の世界が広がったように思います。

——和紙の魅力をみなさんへ
細筆の先に水をつけて線を引き、そこを手でちぎると毛羽立ちます。これは和紙の原料「コウゾ」などの繊維がつくり出すものです。洋紙とは違う、独自の優しい感じがします。



皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。



← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○ クイズの答え ⇒

○ 住 所 ⇒

(ふりがな)
○ 氏 名 ⇒

○ 年 代 ⇒
(該当項目に○印を
付けてください)

・ ~10代 ・ 20代 ・ 30代
・ 40代 ・ 50代 ・ 60代
・ 70代 ・ 80代~

谷 - 折 - リ - 線

○ 議会だよりの感想

の
り
し
ろ

の
り
し
ろ

○ アンケートにご協力ください。(あてはまる□にレを記入してください)

13 ページの文章は
☐ 読んでわかりにくい
☐ 読んでわかりやすい

の
り
し
ろ